

# 人権チェックリスト



平成 28 年

1 月号

パンフレット等を作成する際、わかりやすい色使いに配慮していますか？

## 色のユニバーサルデザイン

人にはさまざまな個人差があり、色の見え方も必ずしも同じではなく個人差があります。日本人では男性の約20人に1人、女性の約500人に1人の割合で、色を識別しにくい特性を持っているとされています。



見分けやすい色  
の組み合わせ例

じんけん

(黄と黒)

じんけん

(緑と白)

じんけん

(黄と青)

じんけん

(赤と白)

じんけん

(青と白)



見分けにくい色  
の組み合わせ例

じんけん

(赤と黒)

じんけん

(紫と赤)

じんけん

(赤と緑)

じんけん

(黄と白)

じんけん

(茶と緑)

## チェック

案内表示やパンフレット等を見やすくするために、次のようなことに配慮しましょう。

- 背景の色と文字の色に明暗の差を付け、同色系の場合は濃淡の差を付ける。
- 線の細い明朝体ではなく線の太いゴシック体を使う。
- 色だけでなく、書体（フォント）、太字、傍線、囲みなど形での変化を併用する。

※詳しくは、(公財)和歌山県人権啓発センター「色覚バリアフリーの推進」をご参照ください。(http://www.w-jinken.jp/color/index.htm)

内容についてのお問い合わせは  
和歌山県人権施策推進課まで  
☎073-441-2566

